



2012年、平成24年、辰年、新年あけましておめでとうございます。
 昨年の正月は、県東部において大雪が降り、交通機関がストップし、日常生活に大変な支障をきたす年始になりましたが、今年の積雪の様子はいかがでしょうか。
 さて、早速、1月2日には、県内トップをきって江津市、益田市で成人式が開催されました。各市町におかれましては、今年も社会教育事業がますます充実し、活力ある地域づくりが一層進んでいくことを願っております。



1年の締めくくり事業として、成果と課題発表会が下記のように計画されております。
 社会教育に携わる関係者が互いに学び合うよい機会になると思いますので紹介させていただきます。

期日・時間	発表会名・テーマ等	会場
2月7日(火) 13:30~16:00	吉賀町ふるさと教育推進事業 成果報告会 ～学校と地域が関わった取り組みの成果を確かめ合い、 地域ぐるみで吉賀の子を支えていくためのより良い方向性を探る。～	柿木ふれあい 会館
2月8日(水) 13:50~17:00	津和野町学びの協働推進事業ネットワーク協議 ～成果報告会～	津和野町 町民センター
2月11日(土) 9:30~15:20	第2回 浜田市公民館活動交流展 「つどう・まなぶ・むすぶ」～これからの公民館～	旭センター
2月16日(木) 12:30~16:10	島根県公民館研究集会(西部会場) これからの公民館～まちづくりの中での公民館の役割～	江津市総合 市民センター
2月22日(水) 9:30~15:00	第43回 益田・鹿足公民館振興大会 ～ふるさとは大きな家族～	日原山村開発 センター
2月25日(土) 14:00~18:30	おおなん ドリーム 学びのつどい	出羽公民館 (邑南町)
3月11日(日) 13:00~16:10	大田市公民館研究大会 “ひと”がつくる地域の未来「絆パワー再発見」	あすてらす (大田市)

本年も変わりませず、西部社会教育研修センターに対しまして各市町の皆様方のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

研修報告 H23年度 11・12月の研修の様子をお伝えします

課題別研修 親学プログラム体験講座

期日：12月1日(木)
 場所：浜田市総合福祉センター

県西部で地域子育て支援センター事業に取り組んでいる保育所等の職員のみなさんを対象に親学プログラム体験講座を開催しました。実施したプログラムは「子どもに伝えるのって難しい!」「こんな子どもに育てほしい」の2つです。昨年度「親学ファシリテーター養成講座」を修了した朋澤さん(吉賀町)と今年度修了したばかりの江木さん(浜田市)の二人が協力して進行しました。楽しいアイスブレイクで会場を温かい雰囲気にした後、参加者同士の話し合いが活発になるよう支援し、ふり返りとわかちあいでは個々の気づきをうまく導き出して、素敵な講座になりました。



お知らせ

西部社会教育研修センターでは朋澤さん、江木さんのような「親学ファシリテーター」になっていただける方を募集・養成しております。来年度は7月11日(水)～12日(木)の2日間、島根県立少年自然の家(江津市)でも親学ファシリテーター養成講座の実施をします。興味のある方はぜひご連絡ください。TEL 0855(24)9344(西部センター)

専門研修 コミュニケーション術実践講座

期 日：11月17日(木)
場 所：西部社会教育研修センター
受講者：23名

名古屋市から日本体験学習研究所(JIEL) 研究員 林 芳孝 氏を講師にお迎えし、「コミュニケーション力を高め、地域活動に生かす！」をテーマに小講義と実習で楽しく「体験学習」を体験しました。

小講義と実習①「フォードチョイス」・②「なぞのマラソンランナー」では、他者との関係のなかで起こるプロセス（自分や他者の動き、コミュニケーション、意思決定、リーダーシップなど）に気づきました。

実習③「タワービルディング」では、課題解決のため、グループ内での自分の行動目標を掲げて、他者との関わり方を意識しながら、みんなで楽しく、紙のタワーを制作しました

＜小講義＞
林 芳孝 氏



声

実習①
「フォードチョイス」



実習②
「なぞのマラソンランナー」



実習③
「タワービルディング」



- ◆自分を見つめ直しながらの参加型学習は初めてで新鮮でした。そして、自分に何が足りないのか、今後コミュニケーションにおいてどう活かすべきか、課題も含めて方向性が見えました。
- ◆相手の意見を聴きながら自分の意見も主張する。実習してみて改めて難しさを感じました。
- ◆自分自身のコミュニケーションの取り方について振り返ることができました。人の話を聞くとき、自分の思い込みが多くあることに気づかされました。

専門研修 参加型学習実践講座

期日：12月6日(火)・7日(水)
場所：益田市立市民学習センター
受講者：15名

役割と姿勢
ファシリテーターの

役割

臨機応変に対応

- ◆学習の司会進行
- ◆学習活動の深化・活性化への支援
- ◆学習者間の交流を図るための雰囲気づくり
- ◆学習者の成果が行動に繋がるような働きかけ

姿勢

心がけ四カ条

- 1 学習者に教え込まない、学習者を操作しない
- 2 開放的な雰囲気づくりを心がける
- 3 討議等の経過を把握するように努める
- 4 問題の解決は学習者自身に任せる



グループごとに、ワークショップの流れとシナリオを考え、ファシリテーターとして前に立ちました。益田市の方は、まさに十人十色。皆さん、個性あふれる素晴らしいファシリテーターぶりを発揮されていました。



◆ファシリテート体験は初めてでしたが、とても勉強になりました。人前で話すことが苦手なので、体験が出来て良かったです。公民館事業に活かしたいです。

- ◆基本的なことから、実践的なことまで多くのことを学ぶことができました。参加型学習はやってみないと分からないこともあると思うので、機会を作って是非挑戦してみようと思います。
- ◆議論をする時に意見が出しやすい状況をどのように作っていくかという点で大変参考になりました。